



FRANKLIN  
TEMPLETON

# フランクリン・テンプレトン・ ニュージーランド債券ファンド(年2回決算型)

旧名称：LM・ニュージーランド債券ファンド(年2回決算型)

## 運用報告書(全体版)

第18期 決算日 2023年2月15日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年2月28日～2024年2月15日まで	
運用方針	主にニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	「フランクリン・テンプレトン・ニュージーランド債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンプレトン・ニュージーランド債券マザーファンド	主にニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日(原則として毎年2月15日及び8月15日。休業日の場合は翌営業日)に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：  
フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

### － 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「フランクリン・テンプレトン・ニュージーランド債券ファンド(年2回決算型)」は、2023年2月15日に第18期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者  
関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

<https://www.franklintempleton.co.jp>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配	騰 落 率			
	円	円	%	%	%	百万円
14期(2021年2月15日)	11,475	0	5.7	98.0	—	1,091
15期(2021年8月16日)	11,348	0	△1.1	98.7	—	1,032
16期(2022年2月15日)	10,705	0	△5.7	98.0	—	981
17期(2022年8月15日)	11,589	0	8.3	98.7	—	939
18期(2023年2月15日)	11,044	0	△4.7	97.7	—	855

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落 率	騰 落 率			
(期首) 2022年8月15日	円	円	%	%	%	%
	11,589	—	—	98.7	—	—
8月末	11,256	△2.9	—	97.6	—	—
9月末	10,820	△6.6	—	96.0	—	—
10月末	11,203	△3.3	—	97.4	—	—
11月末	11,315	△2.4	—	98.4	—	—
12月末	10,889	△6.0	—	97.2	—	—
2023年1月末	11,161	△3.7	—	97.7	—	—
(期末) 2023年2月15日	円	円	%	%	%	%
	11,044	△4.7	—	97.7	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

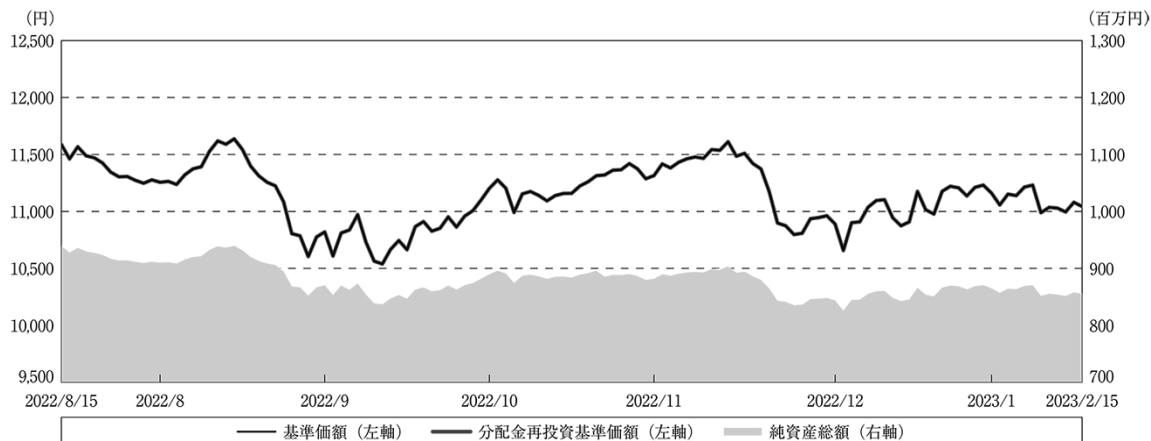
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2022年8月16日～2023年2月15日)



期首：11,589円

期末：11,044円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 4.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年8月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はマイナス(分配金再投資ベース)となりました。公社債利金を手堅く確保しました。一方、債券利回りの上昇(価格は下落)を受けて公社債損益はマイナスとなりました。また、為替相場におけるニュージーランドドル(NZドル)安・円高を反映し、為替損益もマイナスとなりました。

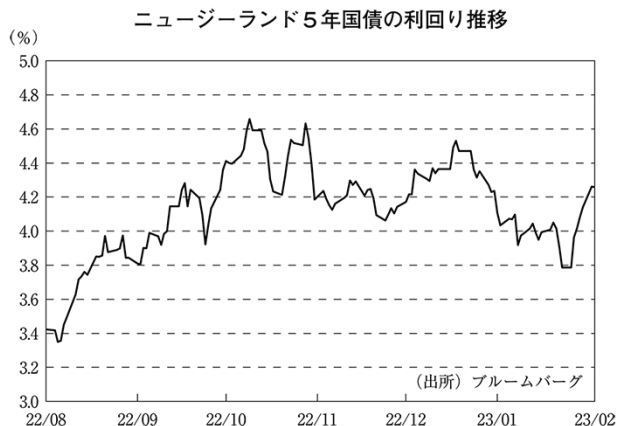
当期のニュージーランド債券市場は、利回りが上昇しました。

期の前半は、ニュージーランド準備銀行（RBNZ）による利上げを背景に利回りは上昇しました。その後も米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを加速するとの見方から米国国債利回りが上昇した影響でニュージーランドの国債利回りも一段と上昇しました。

期の半ばは、米国の消費者物価指数の結果を受けてFRBが利上げペースを緩めるとの見方が浮上し、米国国債利回りが低下（価格は上昇）した影響で、ニュージーランドの国債利回りも低下しましたが、その後はRBNZの利上げ観測を背景に再び上昇しました。

期の後半は、欧米でインフレ・ピークアウトの観測から債券利回りが低下した影響でニュージーランドの債券利回りも低下しました。ニュージーランドでも消費者物価指数の結果を受けてインフレがピークに達した可能性が意識されたことから、利回りは一段と低下しました。しかし、その後はRBNZによる利上げ観測が広がり、利回りは当期末にかけて上昇しました。

社債セクターについては、国債利回りが上昇する中、社債利回りも上昇しました。RBNZによる利上げなどが影響しました。

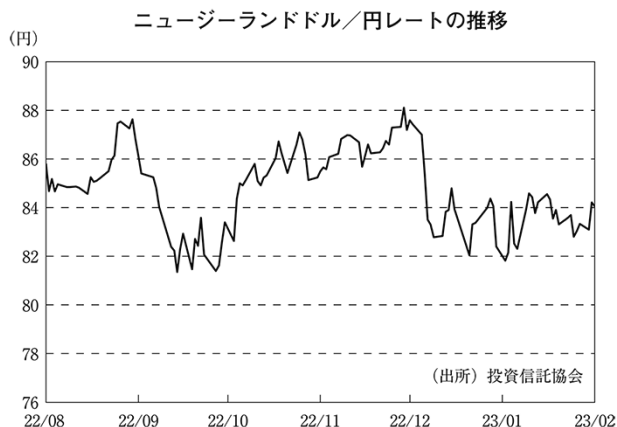


当期のNZドル・円相場は、NZドル安・円高となりました。

期の前半は、海外諸国における金利先高観を背景に為替市場全般で円安傾向となる中、NZドル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後はFRBが利上げを継続するとの観測が根強い中、NZドルは対米ドルで下落するとともに、円に対しても軟調となりました。

期の半ばは、RBNZによる利上げ観測を背景にNZドル買い・円売りが強まりましたが、FRBの金融引き締め局面の長期化が意識されたことなどから、NZドルは対米ドル、対円で上値の重い展開となりました。その後は日銀が大規模緩和を修正し、日本とニュージーランドの金利差縮小が意識されたことから、NZドル売り・円買いが優勢となりました。

期の後半は、日銀がさらに緩和的な政策を修正するとの思惑から為替市場全般で円高が進む中、NZドル売り・円買いが強まる場面も見られましたが、その後は日銀が大規模緩和の基本路線を維持する姿勢を示したことなどから、NZドルは対円で底堅く推移しました。



当ファンドは、「フランクリン・テンプレトン・ニュージーランド債券マザーファンド」を通じて、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。取得時において、原則として1社以上の格付機関から投資適格（BBB-/Baa3以上）の格付けが付与された、またはこれに相当する信用力をもつと運用者が判断する公社債に投資しております。当期の運用に当たっては慎重な方針で臨みました。資産配分については、金融債などの社債を厚めとしました。また、ポートフォリオ全体の平均格付けは引き続き高位に保ちました。

## 分配金

(2022年8月16日～2023年2月15日)

当期の分配金につきましては、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第18期
	2022年8月16日～ 2023年2月15日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,098

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

当ファンドは、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら組入債券の信用リスク、金利リスク等に配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年8月16日～2023年2月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 80	% 0.721	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(39)	(0.349)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(39)	(0.349)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.050	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 3 )	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 等 費 用 )	( 2 )	(0.019)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	金銭信託預入に係る手数料等
合 計	86	0.771	
期中の平均基準価額は、11,107円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

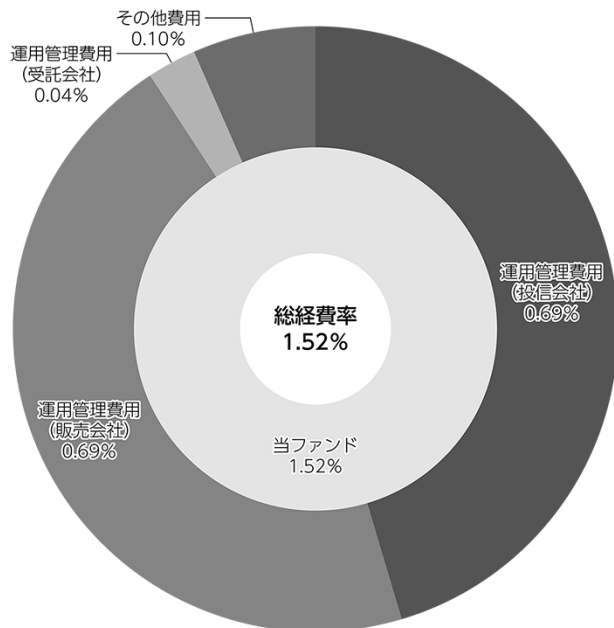
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.52%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年8月16日～2023年2月15日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
フランクリン・テンブルトン・ニュージーランド債券マザーファンド	千口 5,604	千円 7,035	千口 43,001	千円 54,791

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年8月16日～2023年2月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2022年8月16日～2023年2月15日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年8月16日～2023年2月15日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2023年2月15日現在)

### 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
フランクリン・テンブルトン・ニュージーランド債券マザーファンド	千口 722,495	千口 685,098	千円 861,785

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。



## ○投資信託財産の構成

(2023年2月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
フランクリン・templton・ニュージーランド債券マザーファンド	千円 861,785	% 100.0
投資信託財産総額	861,785	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) フランクリン・templton・ニュージーランド債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,165,993千円)の投資信託財産総額(3,224,393千円)に対する比率は98.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月15日における邦貨換算レートは1ニュージーランドドル=84.06円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年2月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	861,785,278
フランクリン・テンプレート・ニュージーランド債券マザーファンド(評価額)	861,785,278
(B) 負債	6,560,665
未払信託報酬	6,338,791
その他未払費用	221,874
(C) 純資産総額(A－B)	855,224,613
元本	774,374,347
次期繰越損益金	80,850,266
(D) 受益権総口数	774,374,347口
1万口当たり基準価額(C/D)	11.044円

<注記事項>

元本の状況

期首元本額

810,617,597円

期中追加設定元本額

6,358,231円

期中一部解約元本額

42,601,481円

○損益の状況 (2022年8月16日～2023年2月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 35,312,460
売買益	1,433,533
売買損	△ 36,745,993
(B) 信託報酬等	△ 6,560,665
(C) 当期損益金(A+B)	△ 41,873,125
(D) 前期繰越損益金	69,384,301
(E) 追加信託差損益金	53,339,090
(配当等相当額)	( 83,644,875)
(売買損益相当額)	(△ 30,305,785)
(F) 計(C+D+E)	80,850,266
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	80,850,266
追加信託差損益金	53,339,090
(配当等相当額)	( 83,654,339)
(売買損益相当額)	(△ 30,315,249)
分配準備積立金	156,249,723
繰越損益金	△128,738,547

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	当 期
(A) 配 当 等 収 益(費用控除後)	7,508,416円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 収 益 調 整 金	83,654,339
(D) 分 配 準 備 積 立 金	148,741,307
分 配 対 象 収 益 額(A+B+C+D)	239,904,062
(1万口当たり収益分配対象額)	( 3,098)
収 益 分 配 金	0
(1万口当たり収益分配金)	( 0)

<お知らせ>

<主な約款変更に関するお知らせ>

当ファンドならびにマザーファンドのファンド名称変更に伴う所要の約款変更を行いました。

(変更日：2022年11月16日)

# フランクリン・テンプルトン・ニュージーランド債券マザーファンド

旧名称：LM・ニュージーランド債券マザーファンド

## 運用状況のご報告

第9期 決算日 2023年2月15日

(計算期間：2022年2月16日～2023年2月15日)

### － 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「フランクリン・テンプルトン・ニュージーランド債券マザーファンド」の第9期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主にニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。 2. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主 要 運 用 対 象	ニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行います。
組 入 制 限	1. 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 2. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
5期(2019年2月15日)	円 11,530	% 1.4	% 96.4	% —	百万円 6,748
6期(2020年2月17日)	11,460	△ 0.6	95.4	—	5,317
7期(2021年2月15日)	12,686	10.7	97.2	—	4,213
8期(2022年2月15日)	12,016	△ 5.3	97.2	—	3,347
9期(2023年2月15日)	12,579	4.7	97.0	—	3,224

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
(期 首) 2022年2月15日	円 12,016	% —	% 97.2	% —	% —
2月末	12,135	1.0	97.5	—	—
3月末	13,085	8.9	98.2	—	—
4月末	12,674	5.5	96.9	—	—
5月末	12,692	5.6	98.3	—	—
6月末	12,664	5.4	97.8	—	—
7月末	12,954	7.8	98.5	—	—
8月末	12,733	6.0	97.5	—	—
9月末	12,256	2.0	95.8	—	—
10月末	12,704	5.7	97.1	—	—
11月末	12,846	6.9	98.0	—	—
12月末	12,380	3.0	96.6	—	—
2023年1月末	12,704	5.7	97.0	—	—
(期 末) 2023年2月15日	12,579	4.7	97.0	—	—

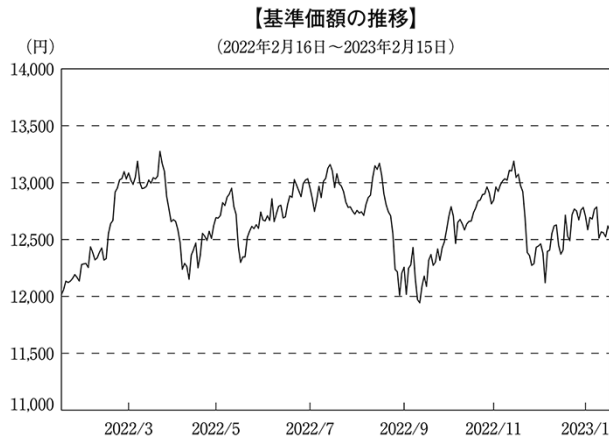
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2022年2月16日～2023年2月15日)



### ○基準価額の変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。公社債利金を手堅く確保しました。また、為替相場におけるニュージーランドドル（NZドル）高・円安を反映し、為替損益もプラスとなりました。一方、債券利回りの上昇（価格は下落）を受けて公社債損益はマイナスとなりました。

当期のニュージーランド債券市場は、利回りが上昇しました。

期の前半は、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融引き締め観測を背景に米国国債利回りが上昇した影響でニュージーランドの国債利回りも上昇しました。その後もニュージーランド準備銀行（RBNZ）による利上げ観測が根強い中、利回りの上昇は続きました。

期の半ばは、各国の中央銀行が積極的に金利を引き上げる中、世界景気の見通しが悪化したことなどから、利回りは低下（価格は上昇）しました。しかし、その後はRBNZによる利上げを背景に利回りは上昇しました。FRBが利上げを加速するとの見方から米国国債利回りが上昇した影響でニュージーランドの国債利回りも一段と上昇しました。

期の後半は、一進一退を続けた後、欧米でインフレ・ピークアウト観測から債券利回りが低下した影響でニュージーランドの債券利回りも低下しましたが、RBNZによる利上げ観測を背景に期末にかけて上昇しました。

社債セクターについては、国債利回りが上昇する中、社債利回りも上昇しました。RBNZによる利上げなどが影響しました。

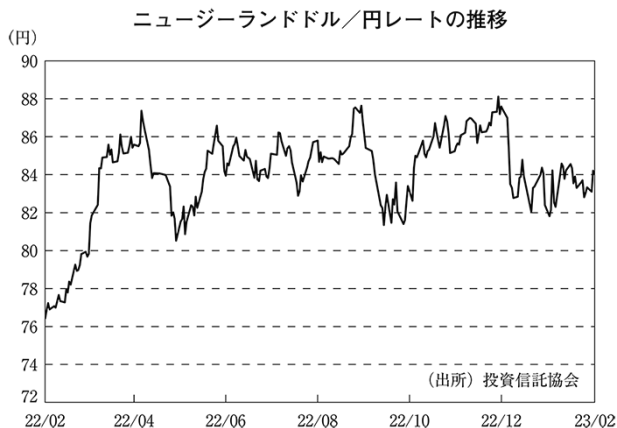


当期のNZドル・円相場は、NZドル高・円安となりました。

期の前半は、ニュージーランドの債券利回りが上昇する中、日本とニュージーランドの金利差の拡大が意識されたことなどから、NZドル買い・円売りが先行しました。RBNZの利上げを受けてNZドル買い・円売りはさらに加速しました。その後はFRBによる積極的な金融引き締め観測からNZドルは対米ドルで下落し、円に対しても軟調となりましたが、RBNZの利上げを背景にNZドル買い・円売りが再び優勢となりました。

期の半ばは、各国中央銀行の積極的な金融引き締めによる世界的な景気悪化が懸念される中、NZドルは対円で上値の重い展開が続きました。その後はFRBが利上げを継続するとの観測が根強い中、NZドルは対米ドルで下落するとともに、円に対しても軟調となりました。

期の後半は、RBNZの利上げを背景にNZドル買い・円売りが強まりましたが、その後は日銀が大規模緩和を修正し、日本とニュージーランドの金利差縮小が意識されたことから、NZドル売り・円買いが優勢となりました。当期末にかけては日銀が大規模緩和の基本路線を維持する姿勢を示したことから、NZドルは対円で底堅く推移しました。



## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。取得時において、原則として1社以上の格付機関から投資適格（BBB-/Baa3以上）の格付けが付与された、またはこれに相当する信用力をもつと運用者が判断する公社債に投資しております。当期の運用に当たっては慎重な方針で臨みました。資産配分については、金融債などの社債を厚めとしました。また、ポートフォリオ全体の平均格付けは引き続き高位に保ちました。

## ○今後の運用方針

当ファンドは、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら組入債券の信用リスク、金利リスク等に配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2022年2月16日～2023年2月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 6	% 0.050	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(6)	(0.050)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	金銭信託預入に係る手数料等
合 計	6	0.050	
期中の平均基準価額は、12,652円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年2月16日～2023年2月15日)

### 公社債

		買 付 額	売 付 額
		千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル
外 国	ニュージーランド	国債証券	2,356
		地方債証券	795
		特殊債券	( 330)
		社債券(投資法人債券を含む)	( 100)
		2,161	2,393
			( 660)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年2月16日～2023年2月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。



# ○組入資産の明細

(2023年2月15日現在)

## 外国公社債

### (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円	%	%	%	%	%
ニュージーランド	41,208	37,208	3,127,719	97.0	—	42.3	28.7	26.0
合 計	41,208	37,208	3,127,719	97.0	—	42.3	28.7	26.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

### (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ニュージーランド		%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円	
国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT	4.5	1,140	1,144	96,216	2027/4/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	0.25	1,150	931	78,338	2028/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	3.0	1,480	1,374	115,523	2029/4/20
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	1.5	2,570	2,069	173,988	2031/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	3.5	2,800	2,609	219,334	2033/4/14
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	4.25	700	691	58,094	2034/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	2.75	2,590	2,116	177,913	2037/4/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	1.75	1,520	991	83,351	2041/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	2.75	1,390	1,013	85,155	2051/5/15
地方債証券	AUCKLAND COUNCIL	5.806	750	750	63,114	2024/3/25
	AUCKLAND COUNCIL	4.176	250	243	20,465	2025/3/24
	AUCKLAND COUNCIL	2.013	200	184	15,541	2025/7/10
	AUCKLAND COUNCIL	2.95	300	173	14,580	2050/9/28
	KUNTARAOHITUS OYJ	0.625	300	295	24,800	2023/6/26
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	4.5	2,880	2,830	237,896	2027/4/15
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	1.5	300	244	20,520	2029/4/20
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	2.25	200	162	13,675	2031/5/15
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	3.5	400	350	29,435	2033/4/14
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	2.0	100	66	5,595	2037/4/15
	特殊債券 (除く金融債)	AVANZ 2020-1 A1	5.97	94	94	7,942
INTL BK RECON & DEVELOP		0.625	500	411	34,613	2027/9/24
NORDIC INVESTMENT BANK		3.875	1,000	967	81,342	2025/9/2
RESNZ 2020-1 A1		6.02	93	93	7,879	2052/10/16
普通社債券 (含む投資法人債券)	AIR NEW ZEALAND LTD	6.61	200	205	17,264	2028/4/27
	ANZ BANK NEW ZEALAND LTD	3.7	200	199	16,738	2023/5/30
	ANZ BANK NEW ZEALAND LTD	3.03	800	776	65,310	2024/3/20
	ASB BANK LIMITED	1.83	300	283	23,809	2024/8/19
	ASB BANK LIMITED	1.646	700	621	52,240	2026/5/4

銘柄	当期末					償還年月日
	利率	額面金額	評価額		千円	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
ニュージーランド	%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル			
普通社債券 (含む投資法人債類)	ASB BANK LIMITED	5.928	380	385	32,385	2026/11/16
	AUCKLAND INTL AIRPORT	3.64	200	199	16,766	2023/4/17
	AUCKLAND INTL AIRPORT	3.97	750	739	62,164	2023/11/2
	BANK OF NEW ZEALAND	3.648	600	590	49,679	2023/11/16
	BANK OF NEW ZEALAND	2.16	500	467	39,331	2025/1/29
	BANK OF NEW ZEALAND	1.884	200	179	15,058	2026/6/8
	CHINA CONSTRUCT BANK NZ	4.005	300	297	25,041	2023/6/19
	CHINA CONSTRUCT BANK NZ	0.954	500	484	40,699	2023/9/25
	CHINA CONSTRUCT BANK NZ	2.393	250	233	19,639	2024/11/22
	CHORUS LTD	1.98	650	549	46,164	2027/12/2
	CONTACT ENERGY LTD	3.55	300	289	24,337	2024/8/15
	CONTACT ENERGY LTD	5.82	200	200	16,848	2028/4/11
	FONTERRA COOPERATIVE GRO	5.08	500	491	41,331	2025/6/19
	GENESIS ENERGY LTD	4.17	90	83	7,040	2028/3/14
	GMT BOND ISSUER LTD	4.54	400	390	32,861	2024/5/31
	GMT BOND ISSUER LTD	2.559	300	233	19,585	2030/9/4
	HOUSING NEW ZEALAND LTD	3.36	530	508	42,721	2025/6/12
	HOUSING NEW ZEALAND LTD	4.422	200	196	16,490	2027/10/15
	HOUSING NEW ZEALAND LTD	3.42	1,700	1,571	132,070	2028/10/18
	HOUSING NEW ZEALAND LTD	2.183	970	809	68,005	2030/4/24
	HOUSING NEW ZEALAND LTD	1.534	200	134	11,291	2035/9/10
	KIWI PROPERTY GROUP LTD	4.33	700	675	56,754	2024/12/19
	KIWIBANK LTD	2.155	500	471	39,642	2024/9/20
	KIWIBANK LTD	5.737	450	451	37,980	2027/10/19
	MERCURY NZ LTD	2.16	200	177	14,879	2026/9/29
	MERIDIAN ENERGY LIMITED	4.21	400	384	32,356	2025/6/27
	NEDER WATERSCHAPSBANK	3.125	400	371	31,245	2027/3/1
	RABOBANK NEDERLAND	2.75	500	484	40,743	2024/3/4
	SPARK FINANCE LTD	3.37	400	389	32,771	2024/3/7
	TOYOTA FIN NEW ZEALAND	3.17	500	492	41,385	2023/9/12
	TOYOTA FIN NEW ZEALAND	2.71	350	336	28,280	2024/4/23
	TOYOTA FIN NEW ZEALAND	1.73	400	374	31,479	2024/9/6
	TRANSPOWER NEW ZEALAND L	1.735	750	686	57,740	2025/9/4
	VECTOR LTD	3.45	230	217	18,310	2025/5/27
	WESTPAC NEW ZEALAND LTD	2.22	800	760	63,947	2024/7/29
合 計					3,127,719	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2023年2月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 3,127,719	% 97.0
コール・ローン等、その他	96,674	3.0
投資信託財産総額	3,224,393	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(3,165,993千円)の投資信託財産総額(3,224,393千円)に対する比率は98.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月15日における邦貨換算レートは、1ニュージーランドドル=84.06円です。

## ○特定資産の価格等の調査

(2022年2月16日～2023年2月15日)

該当事項はございません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年2月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,224,393,229
コール・ローン等	64,307,425
公社債(評価額)	3,127,719,790
未收利息	32,165,148
前払費用	200,866
(B) 負債	1,650
未払解約金	1,511
未払利息	139
(C) 純資産総額(A-B)	3,224,391,579
元本	2,563,387,090
次期繰越損益金	661,004,489
(D) 受益権総口数	2,563,387,090口
1万円当たり基準価額(C/D)	12,579円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	2,785,565,322円
期中追加設定元本額	186,865,354円
期中一部解約元本額	409,043,586円

(注) 期末における元本の内訳

フランクリン・テンプレトン・ニュージーランド債券ファンド(毎月分配型)	1,878,288,689円
フランクリン・テンプレトン・ニュージーランド債券ファンド(年2回決算型)	685,098,401円

## ○損益の状況 (2022年2月16日～2023年2月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	106,447,091
受取利息	106,359,563
その他収益金	126,090
支払利息	△ 38,562
(B) 有価証券売買損益	56,056,768
売買益	332,020,242
売買損	△275,963,474
(C) 保管費用等	△ 1,652,159
(D) 当期損益金(A+B+C)	160,851,700
(E) 前期繰越損益金	561,476,564
(F) 追加信託差損益金	47,805,270
(G) 解約差損益金	△109,129,045
(H) 計(D+E+F+G)	661,004,489
次期繰越損益金(H)	661,004,489

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## <お知らせ>

### <主な約款変更に関するお知らせ>

当ファンドのファンド名称変更に伴う所要の約款変更を行いました。

(変更日：2022年11月16日)